

事務局報告

平成13年度の学術発表会は、平木祥夫教授(岡山大学放射線医学教室)のお世話で10月5日、6日の両日に「おかやま三光荘」で開催されました。今回の大会は、平木大会長の素晴らしい企画のもとで、大会のメインテーマを「21世紀画像診断のUpdate - MDCT vs. MRI」として掲げ、例年になく盛会裏に行われました。セッション別では、マルチスライスCT(MDCT)とMRIの役割、可能性と限界などに関するシンポジウムが、肝胆膵、心・血管、中枢神経系と頭頸部疾患の領域で行われ、また、医療機器メーカーからの最新の製品紹介を兼ねた「MDCTの最新技術と開発動向」と、「MDCTの臓器疾患別標準撮像法」が、それぞれテクニカルノートとして取り上げられました。いずれのセッションにおいても、熱心な発表と討論が行われました。この他に、特別講演、ミニレクチャー、ランチョンセミナーも企画され、充実した2日間の断層映像研究会であったと思います。ここに改めて、平木教授はじめ岡山大学放射線医学教室の関係の方々には厚くお礼申し上げます。

申すまでもなく、今や断層映像はCT、MRI、SPECT、超音波検査など全ての画像診断のモダリティにまたがっており、しかも形態診断のみならず機能的診断においても重要な役割を担うようになりました。今回の大会の主題である「MDCT vs. MRI」の討論を聞いて、ますますその感を強くしましたが、これを機に断層映像に関する研究に対して、特に若手の参加者が増え、本研究会の発展と学術大会および研究会雑誌の内容がよりいっそう充実することを念じています。

以下に、学術大会中に行われた世話人会、総会の議事要旨を掲載します。

平成13年度断層映像研究会世話人会議事要旨

日時：平成13年10月5日(金)12:00~13:00

場所：おかやま三光荘

出席者：平木祥夫(大会長)、西条隆夫、宍戸文男、杉村和朗、田中良明、土屋一洋、中尾宣夫、中村仁信、榎林勇、西谷弘、福田国彦、藤井恭一、本田憲業、町田喜久雄、町田徹、松永尚文、吉田祥二

議事：

1. 平成12年度の事業報告、決算報告、監査報告(福田国彦、藤井恭一両監事による監査済み)が行われ、別紙のように承認された。

2. 庶務報告として会員数、会員動態および会費納入状況が報告された。会員数は、平成13年9月30日現在で422名(うち29名は特別会員、12名は功労会員)、会員動態は平成12年4月1日~平成13年3月31日で新規会員40名、退会49名である。会費納入状況については、平成2年度から平成13年度までの累積未納分が報告され、未納者については事務局から会費請求を改めて行うこと、長期滞納者については雑誌の送付を中止し、し

かる後に退会手続きをとることなどで対応することになった。

3. 平成14年度の事業計画、予算案について報告され、別紙のように承認された。

4. 平成13年10月4日(木)開催の編集委員会の報告が町田喜久雄委員長から行われた。(要旨)(1)平成13年(Vol. 28)もこれまでと同様に3月(No. 1)、6月(No. 2)、9月(No. 3、大会抄録号を兼ねる)を発行しており、12月号(No. 4)も予定通り編集が進んでいる。(2)前号より編集にguest editorを迎えるようになったが、特集号的に主題を定める編集方針で執筆依頼をしており、6月号などは予想していた頁数を上回るようになった。今後も当分はこの方針を続ける予定であり、12月号は星教授、平成14年(Vol. 29)の3月号は宍戸教授、6月号は福田教授にそれぞれguest editorをお願いしている。テーマの選定は出来れば半年前までに行う。(3)連続講座として、「断層映像法の基礎」を篠原広行会員に依頼しているが、発行頁数の関係で掲載論文が多い場合には次号に繰り下がることもあり得る。(4)掲載料は従来通り原則的に無料で、別冊代は50部までは無料とする。筆頭著者については会員の有無を査読の段階で確認する。(5)本研究会がホームページを開く件に関して、サーバーの使用料、管理料などを含む年間の予算案を、印刷製本を担当しているアンダーライン社で見積もることになった。(6)現世話人から特別会員への推挙と新しい世話人の推薦について、以下の案が提案された。(特別会員)打田日出夫、古賀佑彦、高橋陸正、土井修、平松京一、松原升、宮田伸樹、森田陸司、山口昂一、(世話人推薦)綾川良雄、井上登美夫、今井裕、大川元臣、小川敏英、片田和廣、角谷真澄、吉川公彦、栗林幸夫、阪原晴海、佐藤守男、田村正三、沼口雄治、細谷貴亮、松井修、村田喜代史、村山貞之、山下康行(敬称略)。事務局からそれぞれ本人宛に連絡し、諾否の回答をいただくことになった。

5. 次回の第31回学術大会は、吉田祥二教授(高知医科大学放射線医学教室)の大会長のもとで、平成14年11月15日(金)、16日(土)に高知市、旭ロイヤルホテルで開催される。

6. 次々々期(平成16年度)の大会長について討議され、榎林勇教授(大阪医科大学)が推薦され承認された。

断層映像研究会総会議事要旨

日時：平成13年10月5日(金)13:05~13:15

場所：おかやま三光荘、アトリウムホール

議事：平木祥夫大会長の議長のもとで議事が進められ、上記の世話人会報告および編集委員会報告が、それぞれ田中良明(事務局担当)および町田喜久雄編集委員長より行われ、いずれも原案通り承認された。

平成13年度断層映像研究会 世話人会・総会 資料

1号議案：平成12年度事業報告

1. 平成12年度 事業報告

1) 総会 1回 平成12年11月17日(金)熊本市
国際交流会館

2) 第29回断層映像研究会学術大会
平成12年11月17日(金)、18日(土)
学術大会長 高橋睦正 (熊本大学)

3) 世話人会 1回 平成12年11月17日(金)熊本市

4) 編集委員会 1回 平成12年11月16日(木)熊本市

5) 研究会雑誌の発行

第27巻2号(H.12.06.30)発行

第27巻3号(H.12.09.30)発行

第27巻4号(H.12.12.31)発行

第28巻1号(H.13.03.31)発行

2. 庶務報告

1) 会員数(平成13年9月30日現在)

会 員：381名

特別会員：29名

功 勞 会 員：12名

合計会員数：422名

2) 会員動態(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

平成12年度収支決算報告書
(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

1. 収入の部			2. 支出の部			
項 目	予 算 額	収 入 額	項 目	予 算 額	支 出 額	備 考
会 費	2,700,000	1,433,000	報 償 費	100,000	0	事務手当
利 子	2,000	1,046	賃 金	150,000	0	アルバイト料
前年度繰越	700,000	1,666,392	旅 費	250,000	60,000	委員会等
雑 収 入	0	3,780	需 要 費	200,000	52,720	印刷費、事務用品費等
			役 務 費	250,000	95,685	切手代、通信費
			使用貸借料	100,000	0	コピー、会議室等
			負担金及び 補 助 金	2,000,000	993,620	研究会1回 会誌3冊
			予 備 費	352,000	15,500	慶弔費
			次年度繰越	0	1,886,693	
合 計	3,402,000	3,104,218	合 計	3,402,000	3,104,218	

次年度繰越内訳

郵便局振替口座 413,040円
郵便貯金総合通帳 431,971円
定期預金(東京三菱銀行) 800,518円
普通預金(東京三菱銀行) 241,164円

1,886,693円

新規会員：40名

退 会：49名

編集委員会 平成13年10月4日(木) 岡山市

おかやま三光荘

2号議案：平成12年度収支決算報告ならびに監査結果報告

1. 収支決算報告(資料)

2. 藤井恭一、福田国彦監事より監査報告

3号議案：編集委員会報告

検討内容報告

1. 断層映像研究会雑誌の編集状況について
2. 断層映像研究会雑誌の今後の編集方針について
3. 次期(平成14年度)学術大会について

大会長：吉田 祥二教授(高知医科大学放射線医学教室)

平成12年度収支決算報告書

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	小計 1,433,000	
2. 利 子	小計 1,046	定期預金 438 普通預金 110 郵便貯金総合通帳 498
3. 前年度繰越金	小計 1,666,392	
4. 雑 収 入	小計 3,780	会誌代
収入合計	3,104,218	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 金	小計 0	事務手当
2. 賃 金	小計 0	
3. 旅 費	小計 60,000	編集委員会旅費
4. 需 要 費	小計 52,720	封筒作成代
5. 役 務 費	1,365 90,000 2,220 2,100 小計 95,685	振込料 切手、葉書代 宅急便送料 振込取扱票印字サービス料
6. 使用賃借料	小計 0	
7. 負担金及び補助金	200,000 793,620 小計 993,620	編集委員会補助 会誌発行費
8. 予 備 費	小計 15,500	物故会員への生花代
9. 次年度繰越	小計 1,886,693	
支出合計	3,104,218	

- 会 期：平成14年11月15日(金)、16日(土)
 会 場：高知市 旭ロイヤルホテル
 4. 次々々期(平成16年度)の大会長推薦について
 梶林 勇教授(大阪医科大学)が推薦された。

- 2) 学術発表会 1回
 3) 世話人会 1回
 4) 編集委員会 随時
 5) 研究会雑誌の発行 4回
 (うち1回は大会抄録号を兼ねる)

4号議案：平成14年度事業計画および予算案

1. 平成14年度 事業計画

- 1) 総会 1回

2. 平成14年度 予算書(案)(資料)

5号議案：その他

平成14年度収支予算書(案)

1. 収入の部

項 目	予 算 案	備 考
1.会 費	1,800,000	6,000×300人
2.利 子	1,000	
3.前年度より繰越金	1,500,000	
計	3,301,000	

2. 支出の部

項 目	予 算 案	備 考
1.報 奨 金	250,000	事務手当
2.賃 金	0	
3.旅費及び会合費	180,000	委員会等
4.需 要 費	50,000	印刷費、事務用品等
5.役 務 費	100,000	切手代、通信費
6.使用貸借料	50,000	コピー、会議室等
7.負担金及び補助金	1,750,000	会誌発行 1,250,000 大会補助 300,000 編集委員会 200,000
8.予 備 費	921,000	
計	3,301,000	